

2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年4月30日

東

上場会社名 株式会社牧野フライス製作所 上場取引所
 コード番号 6135 URL <https://www.makino.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 井上 真一
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 永野 敏之 (TEL) 046-284-1439
 定時株主総会開催予定日 2021年6月24日 配当支払開始予定日 2021年6月25日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	116,737	△26.8	△3,612	—	△1,374	—	△2,703	—
2020年3月期	159,401	△22.1	3,514	△83.0	4,130	△81.2	830	△95.1
(注) 包括利益	2021年3月期 11,812百万円(—%)		2020年3月期 △6,038百万円(—%)					

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	△110.82	—	△1.7	△0.5	△3.1
2020年3月期	33.97	—	0.5	1.6	2.2

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	280,015	161,992	57.6	6,663.23
2020年3月期	258,889	151,703	58.3	6,172.34

(参考) 自己資本 2021年3月期 161,184百万円 2020年3月期 150,875百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	18,036	△6,568	6,022	74,644
2020年3月期	8,811	△8,323	7,479	55,358

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	60.00	—	20.00	80.00	1,955	235.5	1.3
2021年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00	483	—	0.3
2022年3月期(予想)	—	10.00	—	20.00	30.00		48.4	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	70,000	41.0	300	—	800	—	200	—	8.27
通期	145,000	24.2	2,000	—	2,600	—	1,500	—	62.01

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 —社（社名）— 、除外 —社（社名）—

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	24,893,841株	2020年3月期	24,893,841株
② 期末自己株式数	2021年3月期	703,682株	2020年3月期	450,092株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	24,395,679株	2020年3月期	24,443,885株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	47,829	△36.8	△6,279	—	△3,511	—	△3,500	—
2020年3月期	75,695	△30.3	△3,995	—	△36	—	△1,132	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期	△143.47		—					
2020年3月期	△46.35		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	174,705	92,541	53.0	3,825.59
2020年3月期	160,592	90,079	56.1	3,685.18

(参考) 自己資本 2021年3月期 92,541百万円 2020年3月期 90,079百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	15
4. その他	16
受注及び販売の状況	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における、連結売上高は1,167億37百万円（前年同期比26.8%減）、営業損失36億12百万円（前年同期は営業利益35億14百万円）、経常損失13億74百万円（前年同期は経常利益41億30百万円）、純損失27億3百万円（前年同期は純利益8億30百万円）となりました。

当年度の連結受注は1,174億10百万円（前年同期比17.1%減）で前年度を下回りました。

中国を除くすべての地域で、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて減少しました。

当第4四半期の連結受注については350億59百万円（前年同期比34.7%増）となり、18年度の第2四半期以降、初めて前年同四半期を上回りました。中国の増加がけん引しました。

当年度の報告セグメント別の受注状況（現地通貨ベース）は以下のとおりです。（当社報告セグメントはグループの販売体制をもとに構成されています。詳細については13ページを参照ください）

セグメントⅠ（牧野フライス製作所「個別」および国内連結子会社）

牧野フライス製作所の国内受注は前年度を大きく下回りました。顧客が設備投資を見合わせる状況が継続しました。

こうした中でも、コロナ禍でのDX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みの成果として、好調な半導体の金型向けや、自動車に使われる高張力鋼板のプレス金型向け等に、AIやデジタルツインなどの最新技術を利用した自動化システムの受注を獲得しました。量産部品加工のみならず、金型加工においても自動化が進んでいます。

半導体製造装置や油空圧機器向けについては、前年度を若干上回る結果となりました。

セグメントⅡ（MAKINO ASIA PTE LTD）

アジアは前年度を上回りました。中国向け受注が電気電子部品の金型向けの受注を中心に、新型コロナウイルスによる影響を大きく受けた前年度から回復したことによります。

インドやアセアンにおいては、当第1四半期以降ゆるやかに増加しましたが、上期が大きく落ち込んだため前年度を下回りました。

セグメントⅢ（MAKINO INC.）

前年度を大きく下回りました。主要な向け先の一つである航空機向けの減少が主な要因です。

当第4四半期は、SUVやピックアップトラック等の自動車や、半導体製造装置、人工骨やインプラントの医療、レジャー用船舶の部品加工向けなど、幅広い受注があり、航空機向けを除けば、新型コロナウイルスによる影響が出る前の水準に戻りました。

セグメントⅣ（MAKINO Europe GmbH）

前年度を大きく下回りました。多くの産業で低迷が続きました。

厳しい中でもスイスの時計メーカ向けに新規受注を獲得するなど、一部の環境に左右されにくい産業での設備投資は底堅く継続しています。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度における総資産は、前連結会計年度末に比べ211億26百万円増加し、2,800億15百万円となりました。主な増減としては、現金及び預金162億83百万円の増加、投資有価証券107億69百万円の増加、受取手形及び売掛金100億16百万円の減少、有価証券33億8百万円の増加及び棚卸資産15億75百万円の増加などが挙げられます。

負債につきましては、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）116億53百万円の増加、短期借入金33億57百万円の減少、繰延税金負債27億58百万円の増加、退職給付に係る負債25億89百万円の減少及び仕入債務21億44百万円の減少などにより、前連結会計年度末に比べ108億37百万円増加し、1,180億23百万円となりました。

また純資産につきましては、その他有価証券評価差額金74億96百万円の増加、為替換算調整勘定39億47百万円の増加、利益剰余金31億92百万円の減少及び退職給付に係る調整累計額30億55百万円の増加などにより、前連結会計年度末に比べ102億88百万円増加し、1,619億92百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少108億52百万円、減価償却費68億76百万円、仕入債務の減少32億9百万円、税金等調整前当期純損失23億99百万円、事務所移転費用8億99百万円などにより、180億36百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出53億94百万円及び投資有価証券の取得による支出8億57百万円などにより、65億68百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入121億18百万円、短期借入金の返済による支出33億1百万円、自己株式の取得による支出10億1百万円、配当金の支払額4億90百万円などにより、60億22百万円の収入となりました。

これらの結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ192億86百万円増加し、746億44百万円となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率	51.1	56.5	59.4	58.3	57.6
時価ベースの自己資本比率	42.9	46.3	41.4	26.9	37.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	3.9	2.5	2.3	5.2	3.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ	34.3	45.9	50.0	25.7	61.8

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標はいずれも連結ベースの財務諸表により算出しております。

※ 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※ キャッシュ・フローは営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。

※ 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債（リース債務を除く）を対象としております。また、利払いについては連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

次期の受注は当期を上回り、コロナウイルスによる影響が出る前の水準に戻る見通しです。中国は好調を続け、他の地域は経済活動の立ち直りとともに受注が増加するとみています。

次期の報告セグメント別の受注見通し（現地通貨ベース）は以下のとおりです。

セグメントⅠ（牧野フライス製作所「個別」および国内連結子会社）

当期を大きく上回る見通しです。

受注は幅広い産業で上向き基調にあります。半導体製造装置や自動車向けを中心に受注が増加するとみています。

21年4月に開催された、金型加工技術の展示会INTERMOLD2021に出展し、最新技術を利用したさまざまなDX（デジタルトランスフォーメーション）の提案をしました。

デジタルツインを用いることで、パソコン上で加工シミュレーションを確認し、材料を用意するだけで加工ができる自動化システムの提案をしました。

また、過去の加工実績をAIが機械学習し、自動で加工プログラムを作成する提案をしました。プログラム作成にかかる時間が短縮され、機械の稼働率が高まることで、多品種少量生産の金型加工においても自動化システムを導入することができるようになりました。

短納期や熟練工の減少に対応するべく、このようなDXを用いた自動化を採用されるお客様が増えつつあります。ここに向けた取り組みを強化します。

さらに、政府の補助金等の施策が、お客様の設備投資の後押しになると期待しています。

セグメントⅡ（MAKINO ASIA PTE LTD）

当期を上回る見通しです。

中国は、電子部品関連の金型向け受注が好調を維持するとみています。これに加え、スマートフォンの金型や自動車の大物金型向け、油空圧機器や商用車の部品加工向けなど、幅広い産業からの引き合いが増えていきます。

インド、アセアンにおいては、自動車販売の回復に伴って受注が増加するとみています。さらに、インドにおいてはスマートフォンの内製化のための引き合いがあります。

セグメントⅢ（MAKINO INC.）

当期を上回る見通しです。

自動車や医療、半導体製造装置の部品加工向けを中心に受注が増加するとみています。経済回復の期待から、トラックなどの物流関連や、建機や油圧機器関連の引き合いが出ています。民間航空機向け受注については、厳しい状況が続くとみています。

セグメントⅣ（MAKINO Europe GmbH）

当期を上回る見通しです。

イタリアでは経済施策により、自動車を中心にさまざまな産業で引き合いが増えていきます。これを足掛かりに受注増に努めます。

当社グループの2022年3月期の連結業績予想は、次のとおりです。

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期 連結累計期間	70,000	41.0	300	—	800	—	200	—
通期	145,000	24.2	2,000	—	2,600	—	1,500	—

当社の主要な向け先の一つである航空機関連の受注回復には時間がかかると見えています。

当社は、半導体製造装置をはじめとした成長市場に向けた新製品、サービスを展開し、コロナ禍の中で進めてきた開発の成果を上げるよう取り組みます。

航空機部品加工向けに開発した高能率加工ができるマシニングセンタT1に、新たに旋削加工機能を搭載したものを半導体製造装置の大部品加工の工程集約を実現する最適な製品として提案します。

半導体の製造工程で多く使われるセラミック製の部品や消耗品の加工向けに、これまで人手による調整、確認が必要であったプロセスを自動化した、マシニングセンタBG500を展開します。

E V関連向けには、軽量化のためのハイテン材のプレス金型や、内装やライトなどのプラスチックの大部品向けに、大型の5軸制御マシニングセンタD2、およびV100Sを開発し、製品ラインアップを拡充しました。

このほか、医療や航空宇宙産業などの成長市場に、当社の技術を生かした提案をします。

さらに、昨年末に発売したレーザー加工機の拡販に努めます。

当社は、コロナ禍への対応と、今後の景気拡大に備えるために、DXの取り組みを進めてきました。

営業活動においては、オンラインセミナーやYouTubeの動画等のデジタルコンテンツを用いた効率的な営業手法を確立しました。サービス面においては、IoTセンタを設け、リモートでお客様のサポートが行える体制を築きました。お客様が抱える問題を解決する提案型ビジネスへの転換を進めています。

生産現場においては、AGVによる自動搬送など、最新の自動化を取り入れることで、効率化のみならず、お客様に提案できる自動化製品、サービスの実証をしています。

開発部門においては、デザインスタンダードを定めてノウハウを共有することや、モジュール型の製品開発を行うことで開発スピードの向上を図っています。

グループを挙げてこれらの取り組みを推進し、業績予想の達成につなげます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,748	72,032
受取手形及び売掛金	40,179	30,162
有価証券	35	3,343
商品及び製品	19,343	19,950
仕掛品	12,350	13,759
原材料及び貯蔵品	26,652	26,212
その他	8,683	6,376
貸倒引当金	△949	△1,300
流動資産合計	162,043	170,536
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	73,611	74,686
減価償却累計額	△42,977	△44,461
建物及び構築物(純額)	30,634	30,225
機械装置及び運搬具	24,832	26,850
減価償却累計額	△16,120	△17,493
機械装置及び運搬具(純額)	8,712	9,357
工具、器具及び備品	16,256	17,014
減価償却累計額	△12,005	△12,475
工具、器具及び備品(純額)	4,250	4,539
土地	18,198	18,765
リース資産	4,826	5,686
減価償却累計額	△1,284	△1,732
リース資産(純額)	3,541	3,954
建設仮勘定	2,471	2,909
有形固定資産合計	67,808	69,751
無形固定資産		
その他	4,581	4,122
無形固定資産合計	4,581	4,122
投資その他の資産		
投資有価証券	18,139	28,908
長期貸付金	813	801
繰延税金資産	3,084	2,664
退職給付に係る資産	127	281
その他	2,604	3,188
貸倒引当金	△315	△239
投資その他の資産合計	24,454	35,604
固定資産合計	96,845	109,478
資産合計	258,889	280,015

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,024	13,301
電子記録債務	11,944	8,523
短期借入金	4,767	1,410
1年内返済予定の長期借入金	597	4,350
リース債務	474	516
未払法人税等	432	632
その他	21,957	26,272
流動負債合計	52,198	55,006
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	20,445	28,347
リース債務	2,801	2,412
繰延税金負債	4,737	7,495
役員退職慰労引当金	109	119
退職給付に係る負債	5,512	2,922
その他	1,381	1,719
固定負債合計	54,987	63,016
負債合計	107,185	118,023
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,142	21,142
資本剰余金	37,070	37,074
利益剰余金	93,424	90,231
自己株式	△2,011	△3,012
株主資本合計	149,626	145,436
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,602	16,099
為替換算調整勘定	△3,329	617
退職給付に係る調整累計額	△4,024	△968
その他の包括利益累計額合計	1,248	15,748
非支配株主持分	828	807
純資産合計	151,703	161,992
負債純資産合計	258,889	280,015

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	159,401	116,737
売上原価	117,142	89,806
売上総利益	42,259	26,930
販売費及び一般管理費	38,744	30,542
営業利益又は営業損失(△)	3,514	△3,612
営業外収益		
受取利息	285	237
受取配当金	516	316
受取賃貸料	264	258
助成金収入	308	990
為替差益	-	364
その他	454	672
営業外収益合計	1,828	2,839
営業外費用		
支払利息	291	194
社債利息	52	96
退職給付費用	112	285
為替差損	616	-
その他	139	25
営業外費用合計	1,212	602
経常利益又は経常損失(△)	4,130	△1,374
特別利益		
固定資産売却益	99	176
投資有価証券売却益	36	24
雇用調整助成金	-	785
特別利益合計	136	986
特別損失		
固定資産除却損	118	88
新型コロナウイルス対応による損失	-	892
減損損失	-	130
事務所移転費用	-	899
特別損失合計	118	2,011
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	4,148	△2,399
法人税、住民税及び事業税	1,099	806
法人税等調整額	2,203	△511
法人税等合計	3,303	295
当期純利益又は当期純損失(△)	845	△2,694
非支配株主に帰属する当期純利益	14	8
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	830	△2,703

連結包括利益計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	845	△2,694
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,223	7,499
為替換算調整勘定	△3,409	3,947
退職給付に係る調整額	△1,251	3,059
その他の包括利益合計	△6,883	14,507
包括利益	△6,038	11,812
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△6,049	11,796
非支配株主に係る包括利益	11	16

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	21,142	37,070	95,782	△2,009	151,986
会計方針の変更による累積的影響額			△255		△255
会計方針の変更を反映した当期首残高	21,142	37,070	95,527	△2,009	151,730
当期変動額					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					-
剰余金の配当			△2,933		△2,933
親会社株主に帰属する当期純利益			830		830
自己株式の取得				△1	△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△2,102	△1	△2,104
当期末残高	21,142	37,070	93,424	△2,011	149,626

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	10,823	79	△2,774	8,128	831	160,946
会計方針の変更による累積的影響額						△255
会計方針の変更を反映した当期首残高	10,823	79	△2,774	8,128	831	160,690
当期変動額						
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						-
剰余金の配当						△2,933
親会社株主に帰属する当期純利益						830
自己株式の取得						△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2,220	△3,409	△1,249	△6,879	△2	△6,882
当期変動額合計	△2,220	△3,409	△1,249	△6,879	△2	△8,986
当期末残高	8,602	△3,329	△4,024	1,248	828	151,703

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	21,142	37,070	93,424	△2,011	149,626
会計方針の変更による累積的影響額					-
会計方針の変更を反映した当期首残高	21,142	37,070	93,424	△2,011	149,626
当期変動額					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		3			3
剰余金の配当			△488		△488
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△2,703		△2,703
自己株式の取得				△1,001	△1,001
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	3	△3,192	△1,001	△4,190
当期末残高	21,142	37,074	90,231	△3,012	145,436

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	8,602	△3,329	△4,024	1,248	828	151,703
会計方針の変更による累積的影響額						-
会計方針の変更を反映した当期首残高	8,602	△3,329	△4,024	1,248	828	151,703
当期変動額						
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						3
剰余金の配当						△488
親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△2,703
自己株式の取得						△1,001
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	7,496	3,947	3,055	14,499	△21	14,478
当期変動額合計	7,496	3,947	3,055	14,499	△21	10,288
当期末残高	16,099	617	△968	15,748	807	161,992

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	4,148	△2,399
減価償却費	6,652	6,876
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	234	836
貸倒引当金の増減額(△は減少)	154	230
受取利息及び受取配当金	△802	△553
支払利息	344	291
為替差損益(△は益)	18	△24
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△36	△24
有形固定資産売却損益(△は益)	△99	△176
有形固定資産除却損	118	88
減損損失	-	130
事務所移転費用	-	899
売上債権の増減額(△は増加)	10,698	10,852
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,842	193
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,907	△3,209
その他	△3,534	2,865
小計	13,832	16,875
利息及び配当金の受取額	802	551
利息の支払額	△342	△291
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△5,479	900
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,811	18,036
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,440	△5,394
有形固定資産の売却による収入	361	496
投資有価証券の取得による支出	△72	△857
投資有価証券の売却による収入	157	74
その他	△1,330	△886
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,323	△6,568
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,470	△3,301
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△571	△649
長期借入れによる収入	6,604	12,118
長期借入金の返済による支出	△7,084	△618
社債の発行による収入	10,000	-
自己株式の取得による支出	△1	△1,001
子会社の自己株式の取得による支出	-	△22
配当金の支払額	△2,925	△490
非支配株主への配当金の支払額	△13	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,479	6,022
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,436	1,795
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,531	19,286
現金及び現金同等物の期首残高	48,827	55,358
現金及び現金同等物の期末残高	55,358	74,644

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの主な事業は工作機械の製造販売であります。製造は日本、アジアで行なっており、販売は海外の重要拠点に子会社を展開して、グローバルな販売活動を行なっております。従いまして、当社グループは下記Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの販売体制を基礎とした各社の所在地別のセグメントから構成されております。

報告セグメントⅠは、牧野フライス製作所が担当するセグメントであり、主たる地域は日本、韓国、中国、大洋州、ロシア、ノルウェイ、イギリス及びセグメントⅡ、Ⅲ、Ⅳに含まれないすべての地域です。さらに、国内関係子会社を含んでおります。

報告セグメントⅡは、MAKINO ASIA PTE LTD(シンガポール)が担当するセグメントであり、主たる地域は中国、ASEAN諸国、インドです。

報告セグメントⅢは、MAKINO INC.(アメリカ)が担当しているセグメントで、南北アメリカのすべての国です。

報告セグメントⅣは、MAKINO Europe GmbH(ドイツ)が担当するセグメントであり、ヨーロッパ大陸(ノルウェイを除く)のすべての国です。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のための会計処理の方法と同一であり、報告セグメントの利益又は損失は営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	
売上高					
外部顧客への売上高	50,946	44,511	49,383	14,560	159,401
セグメント間の内部 売上高又は振替高	49,083	6,719	1,200	56	57,060
計	100,030	51,230	50,584	14,616	216,462
セグメント利益 又は損失(△)	△1,547	3,125	1,980	33	3,592
セグメント資産	184,973	58,419	38,968	14,156	296,517

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	
売上高					
外部顧客への売上高	35,344	41,048	32,398	7,946	116,737
セグメント間の内部 売上高又は振替高	33,389	4,120	344	11	37,866
計	68,734	45,169	32,742	7,957	154,604
セグメント利益 又は損失(△)	△5,740	2,313	599	△1,440	△4,268
セグメント資産	198,791	67,492	31,385	13,420	311,090

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	216,462	154,604
セグメント間取引消去	△57,060	△37,866
連結財務諸表の売上高	159,401	116,737

(単位:百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,592	△4,268
セグメント間取引消去	△78	656
連結財務諸表の営業利益又は営業損失(△)	3,514	△3,612

(単位:百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	296,517	311,090
セグメント間取引消去等	△37,628	△31,074
連結財務諸表の資産合計	258,889	280,015

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
1株当たり純資産額	6,172.34円	1株当たり純資産額	6,663.23円
1株当たり当期純利益	33.97円	1株当たり当期純損失(△)	△110.82円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、前連結会計年度は潜在株式が存在しないため、当連結会計年度は1株当たり当期純損失であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

算定上の基礎

(1) 1株当たり純資産額

項目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額(百万円)	151,703	161,992
普通株式に係る純資産額(百万円)	150,875	161,184
差額の主な内訳(百万円)		
非支配株主持分	828	807
普通株式の発行済株式数(株)	24,893,841	24,893,841
普通株式の自己株式数(株)	450,092	703,682
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数(株)	24,443,749	24,190,159

(2) 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	830	△2,703
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	830	△2,703
普通株式の期中平均株式数(株)	24,443,885	24,395,679

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

受注及び販売の状況

①受注高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当連結会計年度 自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日		前年同期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	33,143	28.2	-24.0
II	44,112	37.6	+8.3
III	32,579	27.7	-32.0
IV	7,574	6.5	-18.7
合計	117,410	100.0	-17.1

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

②受注残高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当連結会計年度末 2021年 3月 31日		前年同期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	15,531	34.0	-12.4
II	11,483	25.1	+36.4
III	12,829	28.1	+1.4
IV	5,861	12.8	-6.0
合計	45,705	100.0	+1.5

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

③販売実績

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当連結会計年度 自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日		前年同期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	35,344	30.3	-30.6
II	41,048	35.2	-7.8
III	32,398	27.7	-34.4
IV	7,946	6.8	-45.4
合計	116,737	100.0	-26.8

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。